

主の御降誕祭

☆・・CHRISTMAS・・☆

盛式ミサしおり



12月24日 主の降誕の前夜のミサ
カトリック吉祥寺教会

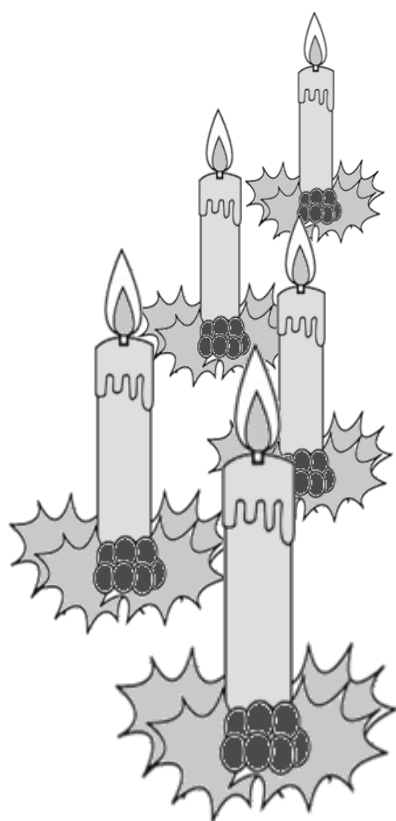
☆ And the Word was made flesh, and dwelt among us ☆ Y el Verbo se hizo carne, y habitó entre nosotros ☆ 道成了肉身，住在我們中間 ☆ 말씀 되시는 그리스도께서 사람이 되어 우리 가운데 사셨다 ☆ A to Słowo stało się ciałem i mieszkało wśród nas ☆ A Palavra se fez homem e viveu entre nós ☆ Naging tao ang Salita, at nanirahan sa piling natin ☆ 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた ☆ Ngôi Lời đã trở nên xác thịt, cư ngụ[j] giữa chúng ta ☆ Firman itu menjadi manusia dan hidup dalam kalangan kita ☆ 圣诞节快乐 ☆ SELAMAT NATAL ☆ GIÁNG SINH VUI VẺ ☆ MERRY CHRISTMAS ☆ FELIZ NATAL ☆ WESOŁYCH ŚWIĄT ☆ 메리 크리스마스 ☆ MALIGAYANG PASKO ☆ 主のご降誕祭、おめでとうございます ☆ FELIZ NAVIDAD ☆ And the Word was made flesh,



ne, y habitó entre nosotros ☆ 道成了肉身，住在我們中間 ☆ 말씀 되시는 그리스도께서 사람이 되어 우리 가운데 사셨다 ☆ A to Słowo stało się ciałem i mieszkało wśród nas ☆ A Palavra se fez homem e viveu entre nós ☆ Naging tao ang Salita, at nanirahan sa piling natin ☆ 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた ☆ Ngôi Lời đã trở nên xác thịt, cư ngụ[j] giữa chúng ta ☆ Firman itu menjadi manusia dan hidup dalam kalangan kita ☆ 圣诞节快乐 ☆ SELAMAT NATAL ☆ GIÁNG SINH VUI VẺ ☆ MERRY CHRISTMAS ☆ FELIZ NATAL ☆ WESOŁYCH ŚWIĄT ☆ 메리 크리스마스 ☆ MALIGAYANG PASKO ☆ 主のご降誕祭、おめでとうございます ☆ FELIZ NAVIDAD ☆ And the Word was made flesh, and dwelt among us ☆ Y el Verbo se hizo carne, y habitó entre nosotros ☆ 道成了肉身，住在我們中間 ☆ 말씀 되시는 그리스도께서 사람이 되어 우리 가운데 사셨다 ☆ A to Słowo stało się ciałem i mieszkało wśród nas ☆ A Palavra se fez homem e viveu entre nós ☆ Naging tao ang Salita, at nanirahan sa piling natin ☆ 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた ☆ Ngôi Lời đã trở nên xác thịt, cư ngụ[j] giữa chúng ta ☆ 圣诞节快乐 ☆ SELAMAT NATAL ☆ GIÁNG SINH VUI VẺ ☆ MERRY CHRISTMAS ☆ FELIZ NATAL ☆ WESOŁYCH ŚWIĄT ☆ 메리 크리스마스 ☆ MALIGAYANG PASKO ☆ 主のご降誕祭、おめでとうございます

〈入祭の歌〉

しずけき



1. しずけき まよなか まずし
 2. しずけき まよなか ほしは
 3. しずけき まよなか ひかり



うまや かみの— ひ とりごは
 ひかり ひつじ— か いたちは
 さして きよら— に ほほえむ



みはは— の む— ねに ねむり— た
 うまや— に い— そぐ そらに— ひ
 すくい— の み— こを たたえ— う



も う や— すら—か に—
 び く てんしの—う た—
 た え み— なと—も に—

〈あいさつ〉

司祭 父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

司祭 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

〈回心〉

司祭 皆さん、神聖な祭りを祝う前に、わたしたちの犯した罪を認め、ゆるしを願いましょう。（短い沈黙のひとつきをとる）

司祭 全能の神と、

会衆 兄弟姉妹の皆さんに告白します。わたしは、思い、ことば、行い、怠りによって
たびたび罪を犯しました。聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟姉妹の皆
さん、罪深いわたしのために神に祈ってください。

司祭 全能の神、いつくしみ深い父がわたしたちの罪をゆるし、
永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

〈あわれみの賛歌〉

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 キリスト、いつくしみを。

会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

〈栄光の賛歌〉

司祭 天には神に栄光、

会衆 地にはみ心にかなう人に平和。

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

わたしたちは主をほめ、主をたたえ、

主を拝み、主をあがめ、

主の大なる栄光のゆえに 感謝をささげます。

主なる御ひとり子イエス・キリストよ、

神なる主、神の小羊、父のみ子よ、

世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く主よ、

わたしたちの願いを聞き入れてください。

父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。

ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、

イエス・キリストよ、

聖霊とともに 父なる神の栄光のうちに。

アーメン。

〈集会祈願〉

司祭 祈りましょう。 (しばらく沈黙のうちに祈る)

聖なる父よ、あなたはこの神聖な夜を、

まことの光キリストによって照らしてくださいました。

やみに輝く光を見たわたしたちが、

その喜びを永遠に歌うことができますように。

聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、

世々とこしえに生き、治められる御子、

わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

〈第一朗読〉 イザヤの預言（イザヤ9:1-3、5-6）

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
 死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。
 あなたは深い喜びと大きな楽しみをお与えになり
 人々は御前に喜び祝った。
 刈り入れの時を祝うように
 戦利品を分け合って楽しむように。
 彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者の鞭を
 あなたはミディアンの日のように折ってくださった。
 ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。
 ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。
 権威が彼の肩にある。
 その名は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」と唱えられる。
 ダビデの王座とその王国に権威は増し、平和は絶えることがない。
 王国は正義と恵みの業によって
 今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。
 万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。
 神のみことば。

会衆 神に感謝。

〈答唱詩編〉 遠く地の果てまで



答唱 と お く 地 の は て ま で す べ て の も の が か み の す く い を 見 た

1. 新しい歌を神に歌え。
 世界よ、神に向かって喜び歌え。
 神の名をたたえて歌い、
 日ごとに救いを告げ知らせよ。
2. 天地は喜びにあふれ、
 海とそこに満ちるものは叫びをあげる。
 野とそこにあるものはどよめき、
 森の木々は声をあげて、神の前で歌う。
3. 聖なるものが現れるとき、神をおがめ。
 世界よ、神をおそれよ。
 神は来られる、世界をさばきに来られる。
 正義とまことをもって、すべての民をさばかれる。



〈第二朗読〉 使徒パウロのテトスへの手紙（テトス2:11-14）

〔愛する者よ、〕すべての人々に救いをもたらす神の恵みが現れました。その恵みは、わたしたちが不信心と現世的な欲望を捨てて、この世で、思慮深く、正しく、信心深く生活するように教え、また、祝福に満ちた希望、すなわち偉大なる神であり、わたしたちの救い主であるイエス・キリストの栄光の現れを待ち望むように教えています。キリストがわたしたちのために御自身を献げられたのは、わたしたちをあらゆる不法から贖い出し、良い行いに熱心な民を御自分のものとして清めるためだったのです。

神のみことば。

会衆 神に感謝。

〈アレルヤ唱〉

☆（会衆起立）



アレ ルー ヤ アレルヤ

大きな喜びをあなたがたに告げ知らせよう きょう わたしたちに救い主が生まれた

アレルヤ アーレル ヤ

〈福音朗読〉 ルカによる福音（ルカ2:1-14）

司祭 主は 皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 ルカによる福音。

会衆 主に栄光。



そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

主のみことば。

会衆 キリストに賛美。

〈説教〉

☆（会衆着席）

〈信仰宣言〉

☆（会衆起立）

天地の創造主、全能の父である神を信じます。父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、生者と死者を裁くために来られます。聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。

〈共同祈願〉（信者の祈り）



きょう わたしたちのために救い主が 生 ま れ た

司祭 わたしたちの主イエス・キリストによって、

会衆 アーメン。

感謝の典礼

☆（会衆着席）

〈奉納の歌〉

きたれ友よ



1. 来 た れ と も ー よ す べ て の と も よ ろ こ び
2. み つ げ 受 け ー て ひ つ じ か い は 群 れ う ち
3. ち ち な る か ー み と わ の さ か え う ま や の



つ ど え べ と レ ヘ ム に み つ か い の
お き て み ー ち い そ ぐ い ざ わ れ ら
み 子 に か が や ー き ぬ う る わ し き

おりかえし



お う な る み 子 を 来 た れ お が ま ん 来 た れ お が
と も に は せ 行 かん
そ の ひ と り ご を



ま ん 来 た れ よ お が ま ん わ が 主 を

〈奉納行列〉 パンとぶどう酒と献金の奉納

☆（会衆起立）

〈祈りへの招き〉

司祭 皆さん、ともにささげるこのいけにえを、
全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆 神の栄光と賛美のため、また わたしたちと全教会のために、 あなたの手を通して
おささげするいけにえを、神が受け入れてくださいますように。

〈奉納祈願〉

司祭 全能の神よ、喜びのうちにこの供えものをささげて祈ります。人の子としてお生まれ
になったキリストに結ばれて、信じる者が神の子どもとして成長することができます
ように。主キリストは生きて、治めておられます、世々としえに。

会衆 アーメン。

〈叙唱〉

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 心をこめて、

会衆 神を仰ぎ、

司祭 賛美と感謝をささげましょう。

会衆 それはとうとい大切な務めです。

司祭 聖なる父、全能永遠の神、
御子イエスの誕生を喜び祝い、心から感謝の祈りをささげます。
キリストの誕生によって救いの夜明けが始まり、
みことばは人間の弱さを身に受け、
わたしたちの死すべき体に永遠の生命が与えられました。
あなたをたたえる天使の群れとともに、
わたしたちも喜びのうちに感謝の歌を歌います。

〈感謝の賛歌〉

聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。
主の栄光は天地に満つ。
天には神にホザンナ。
主の名によって来られるかたに賛美。
天には神にホザンナ。

〈奉献文〉

〈記念唱〉

司祭 信仰の神秘。

会衆 主よ、あなたの死を告げ知らせ、
復活をほめたたえます。
再び来られるときまで。

司祭 聖なる父よ、・・・



〈栄唱〉

司祭 キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに、
聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、
すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。

会衆 アーメン。



交わりの儀

司祭 主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。

〈主の祈り〉

会衆 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに
地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を
今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。

司祭 いつくしみ深い父よ・・・・・・わたしたちの希望、救い主イエス・キリスト
が来られるのを待ち望んでいます。

会衆 国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。

〈教会に平和を願う祈り〉

司祭 主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。「わたしは平和を残し、わ
たしの平和をあなたがたに与える。」主よ、わたしたちの罪ではなく、教会の信仰を
顧み、おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。
あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々としえに。

会衆 アーメン。

〈平和のあいさつ〉

司祭 主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 互いに平和のあいさつをかわしましょう。主の平和。

会衆 主の平和。

(一同は「主の平和」と唱えながら相互にあいさつをかわす。)

〈平和の賛歌〉

会衆 世の罪を取り除く神の小羊、
いつくしみをわたしたちに。
世の罪を取り除く神の小羊、
いつくしみをわたしたちに。
世の罪を取り除く神の小羊、
平和をわたしたちに。

〈拝領前の信仰告白〉

司祭 世の罪を取り除く神の小羊。
神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。
会衆 主よ、あなたは神の子キリスト、
永遠のいのちの糧、
あなたをおいてだれのところに行きましょう。

〈拝領〉

注意！

- ミサの中で行われる聖体拝領（キリストの体となっている小さな白いパンを受ける儀式）は、洗礼を受けたカトリック信者で心の準備のできた（ゆるしの秘跡によって神と和解された）方に限られています。
- 聖体拝領ができない方は、座ったまま、お待ちください。

☆（会衆着席）

〈拝領の歌〉

1. 特別賛歌 （聖歌隊）
2. 「ああベトレヘムよ」 9 ページ
3. 「もろびとこぞりて」 10 ページ
4. 「まきびと」 11 ページ



ああベトレヘムよ

♩ = 100



1. あ あ ベ ト レ ヘ ム よ な ど かーひ と り
2. ひ と み な ね む り て し ら ぬーま に ぞ ▶
3. し ず か に よ つ ゆ の く だ るーご と く
4. あ あ ベ ト レ ヘ ム の き よ きーみ こ よ ▶



- ほ し の み に お い て ふ か くーね む る
 ▶ み こ な る キ リ ス ト う ま れーた も う ▶
 め ぐ み の た ま も の よ に のーぞ み ぬ
 ▶ い ま し も わ れ ら に く だ りーた ま え ▶



- し ら ず や こ よ い く ら き そ ら に
 ▶ あ し た の ほ し よ う た い ま つ れ ▶
 つ み ふ か き よ に か か る め ぐ み
 ▶ こ こ ろ を き よ め み や と な し て ▶



- と こ よ の ひ か り の てー り わーた る を
 ▶ か み に は み さ か え ちー に へーい わ と
 あ め よ り く べ し と たー れ かーは し る
 ▶ い ま よ り と き わ に すー ま いーた ま え
- アーメン

もろびとこぞりて

♩ = 88



1. も ろ び と こ ぞ り て む か え
2. あ く ま の ひ と や て を う ち く ▶
3. こ の よ の や み じ を を て ら し
4. し ぼ め る こ こ ろ の は な を ▶
5. ヘ い わ の き み な る み こ を



ま つ れ ひ さ し く ま ち に
▶ だ き て と り こ を は な つ ▶
た も う た え な る ひ か り
▷ さ か せ め ぐ み の つ ゆ お ▶
む か え す く い の ぬ し と



し
▶ と
の
▷ く
ぞ

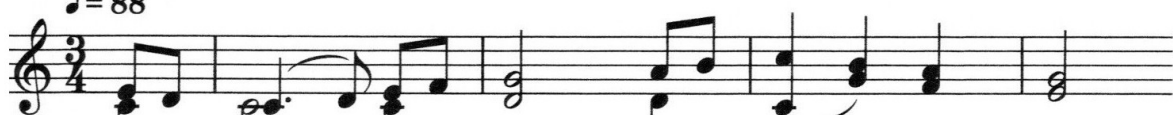
主 は き ま せ り 主 は き ま せ り 主
ほ め た た え よ ほ め た た え よ ほ



は 主 は き ま せ り
め ほ め た た え よ アーメン

まきびと

♩ = 88



1. ま - き - び - と - ひ - つ - じ - を
 2. あ - お - げ - ば - み - そ - ら - に ▶
 3. そ - の - ほ - し - し - る - べ - に ▶
 4. く - す - し - き - ひ - か - り - の ▶



▶ ま - も - れ - る - そ の - - よ い
 ▶ き - ら - め - く - そ あ - か - - ぼ し ▶
 ▶ み - た - り - の - は か - - せ ら ▶
 ▶ み - ち - び - く - ま に - - ま に ▶



▶ た - え - な - る - み - う - た - は
 ▶ よ - る - ひ - る - み さ - や - た - に ▶
 ▶ メ - シ - ヤ - を - た - ず - ね - て ▶
 ▶ は - か - せ - は - ま - ぶ - ね - の ▶



▶ あ - め - よ り - ひ び - - き ぬ
 ▶ か - が - や り - ひ わ た - - け り ▶
 ▶ は - る - ば る - た び - - し ぬ
 ▶ 主 - イ - ス に - ま み - - え ぬ ▶

おりかえし



よ - ろ - こ - び - た - た - え - よ - -



主 イ ス は - - う ま - - れ ぬ ア - メ ン

〈拝領祈願〉

☆（会衆起立）

司祭 聖なる父よ、救い主の降誕をともに喜び祝うわたしたちが、日々の信仰の歩みによって、ひとり子のいのちにあずかることができますように。主キリストは生きて、治めておられます、世々としえに。

会衆 アーメン。

〈お知らせ〉

☆（会衆着席）

閉祭

☆（会衆起立）

〈派遣の祝福〉

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

〈閉祭のあいさつ〉

司祭 聖体の祭儀を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

会衆 神に感謝。

〈閉祭の歌〉

あめのみつかいの

♩ = 92



1. { あ めー の みー つ か い の う たー ご えー ひ び く }
 { ほ しー か げー さ や か な ま きー ば のー そ ら に }
2. { ま ずー し いー う ま や の め ぐー み のー み こ に }
 { ほ めー う たー さ さ げ て よ ろー こ びー う た う }
3. { や さー し いー お さ な ご す くー い のー み こ よ }
 { み くー に をー の ぞ み て み まー え にー い の る }



グロ - - - - - リ ア



イン エグ エル シス デ オ デ - オ -

主のご降誕祭、おめでとうございます。

この世に来られた神の御ひとり子イエス・キリストが、
ご自分の愛と知恵によって私たちの暗闇を照らしてくださるように。

そして、私たちがイエスの模範に従って生き、
イエスと同じように愛に満たされて、この愛を出会うすべての人々に
伝えることができますように、お祈りいたします。

クリスマス - 愛の告白と愛の交わりへの招き

主任司祭 ボグスワフ・ノヴァク

毎日、競争社会において生き抜くために一生懸命に働いて、自分の弱さを絶対に見せてはいけない、さらに、他人にも、自分自身にも、それを認めさせてはいけない、絶えず強い姿勢を見せなければならないというようなプレッシャーを感じていませんか。もし、そんなプレッシャーに負けて、自分の心の叫びに耳を傾けないままに生きるならば、自分の心の最も深いところにある望みを知ることができません。けれども、心の望みを知らないならば、真の意味で豊かで、喜びと平和に満たされた人間らしい人生を送ることができるのでしょうか。

確かに、自分の心の叫びに耳を傾ければ、まずいろいろな不安、煩い、心配、恐れ、失望感、絶望感、挫折感、孤独感などのさまざまな嫌な気持ちから出る叫びが聞こえるでしょう。けれども、もう少し心の声を聞き続ければ、「誰かのために生きたい」、「誰かのために自分の人生をささげたい」、「誰かと深く繋がって心をつにしたい」というような、純粋で、永遠の愛を求める叫びも聞こえるはずです。自分の心のそんな叫びをせっかく聞きとることができても、自分は何もできないし、誰かが助けてくれるといった期待もできないので、心の叫びに耳を傾ける意味などない、またはそれが危険だと思う人もいるかもしれませんが、決してそんなことはないのです。

およそ2000年前から、どんな時代にも、どんな文化においてもイエス・キリストの誕生日がお祝いされ、世界中の人々にたえず大きな喜びをもたらしています。それは、実際に、イエスの誕生が、すべての人々の心の叫びに対する、この宇宙万物の創造主である神の応えであるからです。小さい町ベツレヘムの貧しい馬小屋で生まれたこの小さな子ども、無力な子どもが全能の神の応えであるとは、実に驚くべきことでしょう。

考えてみれば、殆どの場合、子どもの誕生は両親に大きな喜びと希望を与えます。それは、「やっと誰かがわたしを必要としている」とか、「やっと誰かのために生きることができる」とか、「やっと自分の人生が意義のあるものになる」というような喜びです。また、「この子がわたしを愛してくれる」とか、「大きな支えと喜びになる」とか、「立派な人間になって、わたしの誇りとなる」というような希望です。しかし残念ながら、しばしばそうした喜びは悲しみに変わり、希望は失望へと変わるのではないのでしょうか。

しかし、世の救い主として生まれたイエス・キリストの誕生は、その両親や周りの人々だけではなく、全人類の希望と喜びなのです。確かに、イエスの命は最初から狙われていましたし、のちにも、イエスを批判したり、攻撃したり、迫害したりすることによって、多くの人々はイエスがもたらしてくださったその希望を破壊しようとしていました。そして、そのような人々によって、イエスのもとに集まっていた人々はイエスから離れ、イエスを憎むようになり、ついには十字架につけて殺してしまいました。しかし、それでも、イエス・キリストの誕生が私たちに与えた希望は破壊されなかったのです。

イエスは、人生においてこの世の名誉や権力や富ではなく、創造主である神の愛が最も大切な

ことであるということを知っていましたし、この愛を自分の最高の宝にしていましたので、いろいろな誘惑や悪に遭っても、いろいろな苦しみにおいても、いつもこの神の愛を求めて、この愛に忠実に生きていました。それゆえに、どんな体験も、イエスから神の愛を奪い取ることができなかっただけでなく、あらゆる体験がイエスと神との愛の交わりを深めたのです。このように、どんな状況においても創造主である神の望みに従って生き、同時に自分自身の最も深い望みに従って生きたイエス・キリストによって、神は人間に関するご自分の思いと計画を現すことができたのです。

イエスの全生涯が神の啓示となっていますが、その誕生だけでも、神についての非常に大事なことを表しています。全能者で万物の支配者である神の子は、王や金持ちの子として、快適で、安全なところで生まれたのではなく、貧しい大工の息子として、寒くて、暗い馬小屋で生まれました。そして死にいたるまで、多くの人々と同じように、貧しくて苦しい生活をしていました。そんなイエスの姿を見ると、神がご自分のために何の利益をも求めず、どんな状況においても私たちと共にいたいと望んでおられること、また、私たちを無償で、無条件の愛をもって愛しておられることが分かるのです。

イエスは、全世界の支配者の子ですが、大きな軍隊に守られた、権力のある人として生まれて来られたのではなく、弱くて無力な赤ん坊として生まれました。このことはつまり、誰でも恐れずに赤ちゃんに近づくことができるように、私たちは恐れずに神のもとに近づくことができるのだということを示しています。

そして、小さい赤ちゃんが誰かがそばにいることや人の愛情を求めているように、神は私たちが神と共にいて、神を愛することを求めておられることも分かります。その意味で、イエス・キリストの誕生は、私たち一人ひとりに対する神の愛の告白であり、愛の交わりへの招きなのです。

この神の愛の告白と愛の交わりへの招きにあなたはどのように応えますか。もし、心を開いて神の愛を受け入れて、イエスのようにこの愛に忠実に生きることを一番大切にするならば、あなたの人生は全く変わります。今後いろいろな悪や苦しみに出会っても、それは、あなたの一番大切な宝となった神の愛を奪い取ることができないだけでなく、あなたの愛を強めるものになります。そして、そのため、どのような状況においても、安心して自分の最も深い望みに従って生きることができるようになり、イエスと同じように、多くの人を助けること、愛に生きるために必要な力を人に与えることができるようになるのです。

神の愛の告白と愛の交わりへの招きを知っても、それを無視することもできます。しかし、そうするならば、その人はクリスマスの雰囲気だけを表面的にだけ楽しみ、その間はある程度の希望や喜びや平和な気分を味わうことができても、クリスマスの飾りが消えるとともに、その気持ちも消え去り、元の生活に戻ります。

イエス・キリストの誕生の日においてどうか多くの人が神の愛の告白と愛の交わりへの招きを見出すことができますように、そしてそれを積極的に受け入れ、愛に生きることによって、愛に飢え渴いているこの世の暗闇をクリスマスのイルミネーションのように照らすことができますようにお祈りしたいと思います。

主のご降誕祭の当日のミサ： 12月25日 10:30、18:30

年末年始ミサ時間：感謝ミサ：12月31日 17:00

新年ミサ：1月 1日 10:30

どなたでも、ミサに参加することができますので、
多くの皆様の御参加をお待ちしています。

